

ギコンくん
が
いく

特許庁の記念植樹



こんにちは、ギコンくんです。このコーナーでは、特許庁での気になるトピックを紹介しています。今回は、特許庁にある植樹にまつわる話をお届けします。



「おはようございます！コレじいさん！今日はなんだか人が少ないですね。」

うむ。夏休みの時期じゃからのう。

「私も夏休みがほしいです！」

ギコンくんよ。おぬしはそもそも働いておるのかのう。いつも休んでいるものには、夏休みはあげられんのじゃよ。

「失礼な！ぼくだって特許庁の公式マスコットキャラになるため、日々特許庁の中をふわふわうろろうしているのですよ。そうだ、ついさっきも面白いものを見つけました。」

ふむ、うろろうとな…。まあよい。何を見つけたのじゃ？

「庁舎の裏庭に、こんな木が植わっていました。」

ほほう、よく見つけたのう。うろろうもしてみるものじゃな。

「木の下に『特許協力条約 (PCT) 加盟記念植樹』と書いてありました。これは何ですか？」

ワシも詳しいことは知らぬのじゃが、特許制度にまつわる大きなイベントがあると、それを記念してこのような植樹が行われることがあるようじゃ。

この木は碑に書いてあるように、PCT加盟の記念に植えられたものじゃのう。月桂冠という樹木のようなじゃが、ワシの古い記憶では確か、月桂冠は優勝・勝利のような記念の際に植えられることが多いものじゃな。この木は条約加盟を果たして、知財の国際競争時代を想って植えられたのかもしれないのう。



「なるほど。ほかに、こんな木がありました！」

ほう、これは平成4年のサービスマーク制度導入を記念して植えられたものようじゃのう。

もう一本は……これは最近植えられたものじゃな。産業財産権制度125周年を記念して植えられたのじゃ。植樹式は、未来の科学の夢絵画展に入賞した子どもたちを招いて行われたのじゃよ。ワシも一緒に写真に写ったからよく覚えておる。植樹も一緒にやりたかったが、そこで思いとどまるのが一流の胸像じゃな。碑にはその子どもたちの名前も彫られておる。これはなかなかいいイベントだったのう。

「ほんとうだ！ちなみにこれは何の木なんですか？」

八重桜じゃよ。植樹のときの子どもたちの目がきらきらして可愛かったのう。また、この植樹式では、木と一緒にユリオプスデージーという花も植えられたのじゃ。ユリオプスデージーには「大きな目」という意味があつてな。これは、子供たちに科学への大きな好奇心を持ち続けてほしいという願いを込めて植えられたのじゃよ。子どもの様子を見て、ワシは日本の科学の未来に希望を持ったのう。

「パテッ。私もいつか植樹に参加したいです！」

ふむ。いつかそんな機会があるといいのう。

「ところで、蝉の声が聞こえたので、裏庭に虫取りに行きます！」

走って行ってしまった。元気がいいのう。さて、次の植樹はいつになるかのう。ワシも楽しみにしておるよ。

(文：特技懇編集委員会)



産業財産権制度125周年記念植樹